

岡山市における認知症施策の指針
(岡山市版オレンジプラン)
【改訂版】



岡山市

(平成30年3月改訂)

はじめに



岡山市における65歳以上の高齢者人口はすでに18万人を超え、市民の4人に1人以上が高齢者という「超高齢社会」に突入しております。

また、加齢に伴いリスクが上昇することが知られている認知症は、誰にでも起こり得る国民病として認知されており、市内でも2万人以上の方が、何らかの認知症の症状を有すると推定されています。

認知症は、症状が進むと、日常生活を営む上での様々な問題となるおそれがあり、今後のさらなる高齢化を見据えると、認知症を患っても、誰もが安全・安心に暮らせる地域づくりが喫緊の課題となっております。

こうした中、「人生100年時代構想会議」の委員でもあるロンドン・ビジネススクールのリンダ・グラットン教授は、先進国の平均寿命は近いうちに100歳まで伸び、今の40代は70代半ばまで、今の20代は80歳頃まで働くことになる、という興味深い提言をされています。

とりわけ、世界に先駆けて高齢化が進展するわが国においては、高齢期を単に“余生”と捉えるのではなく、高齢になっても、生きがいを持って社会の中で活躍し、多様な生き方が選択できる、人生100年時代の新たなモデルが求められます。

また、制度創設から17年が経過した「介護保険制度」は、介護の現場に携わる関係者の皆様のご尽力に支えられ、高齢期を支える社会インフラとして定着してきたところですが、認知症の症状を有する方々が安心して暮らし続けられる地域社会の実現のためには、さらなる支援の充実が求められております。

岡山市においても、平成26年に、医療・福祉・介護等の関係者が連携し、地域全体で認知症の方々を支えていく方向性を示すものとして、「岡山市における認知症施策の指針（岡山市版オレンジプラン）」を策定するとともに、「認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる社会をめざす」という基本的な考え方の下、様々な施策を進めてまいりました。

そして、このたび、平成27年1月に国が示した国家戦略「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」の7つの柱のうちの「若年性認知症施策の強化」「認知症の人やその家族の視点の重視」を受け、認知症の症状を有する方とそのご家族のご意見をいただきながら、本指針の改定を行ったところであり、今後、本指針に沿って、さらなる取組の推進を図ってまいります。

終わりに、本指針改定にあたり、熱心にご審議いただいた岡山市認知症施策推進検討会の皆様をはじめ、アンケート等にご協力いただいた全ての皆様に心から感謝申し上げますとともに、皆様方には、今後とも、岡山市の認知症施策の推進に向けて、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月

岡山市長 大森 雅夫

もくじ

I 認知症施策の指針（岡山市版オレンジプラン）の策定にあたって

- 1 岡山市版オレンジプラン策定の目的…………… 4
- 2 基本的な考え方…………… 4
- 3 キャッチフレーズ…………… 4
- 4 4つのポイント…………… 4

II 岡山市の高齢者の現状

- 1 高齢者人口の推移と将来推計…………… 5
- 2 要介護認定者数の推計…………… 5
- 3 岡山市の認知症高齢者の状況…………… 6
- 4 認知症（日常生活自立度Ⅱ以上）の推計…………… 7

III 課題と課題解決の方向性

ポイント① 認知症に関する正しい知識の普及啓発と、早期発見から適切な支援につなげる体制の確立

- 1 認知症の正しい知識の普及啓発…………… 8
- 2 相談窓口の充実と普及…………… 9
- 3 早期発見・早期対応ができる体制づくり…………… 10
- 4 早期対応のための医療・介護・福祉の連携…………… 11
- 5 認知症の予防に向けた取組…………… 11

ポイント② 容態に応じて適切な保健・医療・福祉・介護サービスを切れ目なく提供するネットワークの構築

- 1 地域ネットワークの構築…………… 12
 - ※岡山市の認知症ケアパスのイメージ図…………… 14
 - ※岡山市認知症初期集中支援チーム…………… 15
- 2 地域での生活を支える適切な医療・介護サービスの整備…………… 16
- 3 身体合併症悪化時のサポート強化…………… 17
- 4 BPSD悪化時のサポート強化…………… 17
- 5 住み慣れた地域や場所で、認知症の人の意思が尊重されながら、最期を迎えることができる医療と介護体制の構築…………… 17

ポイント③ 認知症の人と家族への支援の強化

- 1 認知症の人や家族への支援…………… 18
- 2 権利擁護の推進…………… 19
- 3 自宅での生活が困難な場合の支援…………… 20

ポイント④ 地域における認知症の理解の浸透と見守り体制の充実・強化

- 1 認知症の人や家族が地域で安心して暮らし続けるための地域支援体制の構築・・・ 2 1

IV 今後に向けて・・ 2 2

V 参考資料

- 認知症の方の在宅生活状況についての調査まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 3

- 1 岡山市内の居宅介護支援事業所へのアンケート結果・・・・・・・・ 2 4

- 2 岡山市地域包括支援センターへのアンケート結果・・・・・・・・ 2 7

- 3 認知症関係機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 9

- 4 岡山市版オレンジプラン策定関係者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 0

- 5 用語解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 2

I 認知症施策の指針(岡山市版オレンジプラン) の策定にあたって

1 岡山市版オレンジプラン策定の目的

我が国は、現在、世界のどの国も経験したことがない超高齢社会を迎えています。2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、認知症^{※1}の人の増加も予想されています。また、核家族化が進む中、独居の高齢者や老老介護等の様々な課題も指摘されています。こうした現状を踏まえ、本市では今後の認知症施策の指針として、地域・保健・医療・福祉・介護等関係者が連携し、地域で認知症の方々を支えていくため、「岡山市版オレンジプラン」を策定しました。

2 基本的な考え方

認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる社会をめざす。

- 1 認知症の人の意思を尊重する。
- 2 認知症を正しく理解し、地域で見守る力を育む。
- 3 地域・医療・介護の切れ目のないネットワークを構築する。

3 キャッチフレーズ

**「ゆるやかにつながる、人にやさしい“まち”をめざして」
～人と人が地域の中でゆるやかにつながり、
気軽に声を掛けあえるような、あたたかい“まち”をめざします～**

認知症は、誰がいつなってもおかしくない病気です。周りの人が、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や介護する家族の気持ちを理解し、自分のこととして、温かく見守り、自分のできる範囲で支援をしていくことが、「暮らしやすい地域づくり」「人にやさしいまちづくり」につながるものと考えます。

4 4つのポイント

- ① 認知症に関する正しい知識の普及啓発と、早期発見から適切な支援につなげる体制の確立
- ② 容態に応じて適切な保健・医療・福祉・介護サービスを切れ目なく提供するネットワークの構築
- ③ 認知症の人と家族への支援の強化
- ④ 地域における認知症の理解の浸透と見守り体制の充実・強化